

全館入場者数	開館日数
161,212人	307日

ア 美術館の管理運営

1 管理

(1)施設管理[ハード]

種別	内容	件数
ホームギャラリー	開架書籍の整理・問い合わせへの対応(レファレンス)	-
子育てひろば	子育てひろばの運営協力	-
花壇(正面玄関外)	苗の植え替え、明後日朝顔プロジェクト等	通年
施設貸出(予約・設備準備・支払等)	アートロフト	181件
※収益事業再掲	会議研修室	238件
施設・設備の管理、点検、修繕等(セキュリティ、音響、照明等設備管理、清掃等)	設備修繕	12件

(2)施設管理[ソフト]

種別	内容	件数
来館者サービス	・来館者対応・警備、電話・メール等への問い合わせ対応 ・朝礼(毎日)、職員ミーティング(週1)、館内スタッフミーティング等による情報共有(月1) ・入場者・入場料管理	-
ニーズ調査	アンケート実施・集計・回答等	356件
新型コロナウイルス感染拡大防止対策	昨年度に引き続き5類相当に移行後も定期的に館内を消毒	-

(3)施設管理[美術館IPM]

種別	内容	件数
ミュージアムIPM	・展示室、収蔵庫、一時保管庫、付室へのトラップ設置モニタリング ・収蔵庫、一時保管庫、付室、搬入口、ホームギャラリー本棚のクリーニング(掃除機、ドライワイパー使用) ・収蔵庫、一時保管庫、美術館入口、展示室入口のアナログ温湿度調査器による計測 ・展示室(GⅠ、GⅡ)の展示期間中のデジタルロガー計測 ・館内の飲食についてのマニュアル作成	通年
専門業者による収蔵庫に繋がる排気口検査	専門業者による収蔵庫本室に繋がる排気口検査	2月25日

2 運営

(1)外部審議会・課題解決ミーティング

種別	内容	開催日
外部審議会	実施なし(次年度以降について検証)	
課題解決ミーティング	財団職員を3グループに分け、①企画展の入場者増、②フリーゾーンの入場者増、③持続可能な組織となるための体質改善をテーマに各グループで年間を通して検討や提案・改善等を行った。	4月25日、5月23日、 7月25日、10月24日、 1月30日、2月6日、 2月13日 ※全体・とりまとめのみ、 個別は別途実施

(2)職員研修

種別	主催	内容	開催日	受講者
熊本市文化芸術推進基本計画策定委員会	熊本市文化政策課	熊本市が策定する「市文化芸術推進基本計画」の策定委員会傍聴	5月20日、6月26日 9月30日	岩崎千夏(副館長) 坂本顕子(学芸員)
公益法人会計オンラインセミナー 初級編	満喜株式会社	公益法人会計基準の内容や勘定科目、会計処理に対する知識の基礎固め	5月24日	中村美友 (会計班)
表現活動のためのマネジメント講座 vol.01「活動を伝える!!」広報講座＋ワークショップ	NPO法人BEPPU PROJECT	表現活動を適切に情報発信するにあたり、対象や手法などをはじめとした芸術文化にまつわる広報に関する基礎知識を学ぶ、対面での講座＋ワークショップ。	8月18日	穴瀬聖 (嘱託職員)
熊本市外郭団体合同研修会	一般財団法人 熊本国際観光コンベンション協会	セキュリティ研修	9月2日、5日	藤本眞一、野中力、杉谷和泉、松本芳典、中川裕美(管理班)
公益法人制度改正セミナー	満喜株式会社	公益法人会計基準見直しの方向性について	9月20日	岡田直幸 (会計班)
甲種防火管理新規講習会	一般財団法人日本防火・防災協会	建物の安全管理や防火・防災に関する講習	9月26日-9月27日	松本芳典 (管理班)
社会保険事務講習会	一般財団法人熊本県社会保険協会	①労働保険の基礎知識、②労働保険料、労働保険の主な手続き等について	10月16日	中川裕美 (嘱託職員)
文化庁委託事業「令和6年度障害者等による文化芸術活動推進事業」	文化庁、独立行政法人国立美術館	ミュージアム・アクセシビリティについて国内の美術館の事例から学び、実践するための基礎的な知識を学ぶ、レクチャー動画＋交流会形式のオンライン講座。	10月17日、31日 11月14日、28日 12月12日 2025年1月9日 2月20日	穴瀬聖 (嘱託職員)
有識者研修会	文化庁(日本博物館協会)	令和6年度「新登録制度の審査・登録に係る意見交換会」	10月23日	岩崎千夏 (副館長)
熊本市外郭団体合同研修会	一般財団法人熊本国際観光コンベンション協会	人権(障がいのある人への合理的配慮)	11月7日	藤本眞一、中川裕美 (管理班)
公益法人制度改正と新公益法人会計基準	株式会社ミロク情報サービス	公益法人制度改正と新公益法人会計基準について	1月22日	岡田直幸、中村美友 (会計班)
防火防災管理者再講習	一般財団法人日本防火防災協会	建物の安全管理の責任を担うための、防火・防災管理者資格の再講習	1月28日	岩崎千夏 (副館長)

公益法人新会計基準セミナー	満喜株式会社	公益法人制度改革における新公益法人会計基準について	2月18日	岡田直幸、中村美友 (会計班)
公益法人会計オンラインセミナー 決算編	満喜株式会社	公益法人の決算実務(決算整理、決算書類の作成等)について	2月28日	中村美友 (会計班)

イ サービス・交流

1 広報

種別	内容
美術館やイベントの総合的な情報発信	パンフレット、年間リーフレット、月だよりの作成・配付
展覧会の情報発信	展覧会チラシ、ポスターの作成・配布
ホームページ維持管理	維持管理・変更・更新等(レンタルサーバ含む) 熊本市現代美術館 https://www.camk.jp
SNSによる情報発信	美術館の出来事をリアルタイム・広範囲に発信・拡散 ・X(旧Twitter):@camk_kumamoto ・Facebook:熊本市現代美術館 ・Instagram:camk_kumamoto ・Youtube:熊本市現代美術館
メディアを利用した情報提供	報道資料、リリースの作成・配付
紙メディアを利用した情報提供	新聞、雑誌等への取材依頼、記事提供等
ラジオ・テレビ取材等	ラジオ、テレビへの取材依頼、情報提供、出演、エフエム791(週1回レギュラー)
市政だより、市LINE等	記事提供

2 ボランティア

(1) ボランティア活動

種別	内容	人数
図書チェック	ホームギャラリーやキッズサロンの本のチェック、整理	38人
布絵本修理	キッズサロンの布絵本の修理、手遊びグッズの作成等	20人
発送作業	ポスター、チラシ等の発送作業	28人
ピアノ演奏	ミニピアノコンサートの演奏	68人
読みがたり	絵本や紙芝居などの読みがたり	20人
合計		174人

(2)ボランティア研修等

種別	内容	人数
新規ボランティア研修①	第23期ボランティア希望者への研修	11人
新規ボランティア研修②	第23期ボランティア希望者への研修	7人
新規ボランティア研修(個別)	第23期ボランティア希望者への研修	3人
合計		21人

3 多様なジャンルのイベント

(1)映画・映像イベント

種別	内容	開催日	人数
定期映画上映会	月曜ロードショー 毎週月曜の14時-、17時-の2回 上映権付の映画上映	50回／年	2,854人
合計			2,854人

(2)音楽・朗読イベント

種別	内容	開催日	人数
音楽イベント	ホームギャラリー ミニコンサート 当館のピアノボランティアによるピアノ演奏。ホームギャラリーで毎日19:00-19:30に実施	162回/年	162人
合計			162人

(3)子ども向けのイベント

種別	内容		開催日	人数
読みがたり	当館ボランティアによる絵本の読みがたり、紙しばい、手遊び歌など (152-164回)		4月27日、5月18日 6月22日、7月20日 8月24日、9月14日 9月21日、10月26日 11月16日、12月17日 1月18日、2月22日 3月15日	168人
子育てひろば ワークショップ	おはなし会とふれあい遊び	絵本や手遊び歌を通して親子間のコミュニケーションを深める	4月18日	18人
	ベビーマッサージ	ベビーマッサージをしながら親子のスキンシップを楽しむ	5月16日	21人
	親子で陶芸 手形足形づくり	手形・足型の陶芸体験型ワークショップ	6月14日	18人
	親子で陶芸 手形足形づくり	手形・足型の陶芸体験型ワークショップ	6月21日	29人
	親子でリトミック	音楽や楽器、ふれあい遊びを通して、親子のコミュニケーションを深める	7月18日	23人
	親子で陶芸 手形足形づくり	手形・足型の陶芸体験型ワークショップ	8月23日	26人
	親子で陶芸 手形足形づくり	手形・足型の陶芸体験型ワークショップ	8月30日	台風接近により中止
	絵の具で描くトートバックづくり	自由に描くアート体験を通して、興味や創造を色や形にする。	9月19日	20人
	ベビーマッサージ	ベビーマッサージをしながら親子のスキンシップを楽しむ	10月17日	17人
	ふれあい遊び	親子でのふれあいを大切にした音楽遊び	10月25日	28人
	絵の具で描くトートバッグづくり	自由に描くアート体験を通して、興味や創造を色や形にする。	11月21日	18人

	親子で作ろうミニアルバム	親子で協力して工作を楽しむ	12月19日	14人
	親子ふれあい音楽遊び	親子でのふれあいを大切にした音楽遊び	1月24日	29人
	親子ふれあいヨガ	親子でヨガをしてリフレッシュするワークショップ	2月20日	29人
	英語であそぼう	親子で英会話を楽しむワークショップ	3月13日	18人
合計				476人

(4)アートラボマーケットでのイベント

タイトル	講師	内容	開催日	人数
小山田 レターワーク ショップ	小山田将監(スタンプアーティスト)	スタンプを自由に使いラブレターを作成し会場の ポストにいれると、会期後スタンプアーティストが スタンプを足して本物のポストへ投函する	4月1日-12月29日	21人
感じてつくるワーク ショップ	監修:日比野克彦	総合計画展に掲げられた8つのビジョンをイメー ジし、自分だけの作品を制作。※公3-ア1(1)再掲	4月3日-5月27日	800人
アートけん玉ワーク ショップ	ウエハラナオミ(イラストレーター、マトリョー シカ作家)、塚原まきこ(けん玉先生)	好きなイラストや模様を描いて、自分だけのけん玉 を作ります。けん玉教室も開催し、けん玉のコツを 伝授。	5月18日	18人
itiiti とみんなでつくる 「分解と集積」	itiiti(プロダクトデザイナー)	役目を終えた紙、普段は捨ててしまう紙を素材で、 ALMの空間を変化させる継続型・参加プロジェク ト	展示:6月8-30日 ワークショップ:6月8、 9、15、16、29、30日	80人
[MW]マスダナガコ ス テンドグラス	マスダナガコ(ステンドグラス作家)	ガラスを使ったアクセサリーやステンドグラスの作 品を展示・販売	7月3日-8月1日	—
itiiti巾着スタンプ	制作:itiiti(プロダクトデザイナー)	アーティスト／イラストレーターのコーダヨーコの 作品展示販売	7月5日-9月1日	40人
帰ってきた！石垣プロ ジェクト	美術館スタッフ 監修:日比野克彦	段ボールで一つ一つ形の違う「石」を作り、それを 積み上げた石垣を築く継続型・参加プロジェクト。 出来上がった石の数は433個。 ＊就労移行支援施設ウェルビーくまもと10名 ＊熊本県立大津高校美術コース1-3年 50名 ＊学習支援センターに通う中高生12人など団体 参加もあり。	7月12日 -8月19日	520人
ステンドグラスワーク ショップ	マスダナガコ(ステンドグラス作家)	角を削ったガラスのカケラを素材に、自由にステ ンドグラスを作成する	7月14日、7月20日	各5人
[MW]itiiti いぐさモ ビール	itiiti(プロダクトデザイナー)	6月に行った「構造と集積」のもとになった、いぐさ 作品を展示し、「畳だけではない”いぐさ”」を伝える。 。	8月2日-9月1日	—
い草モビール	itiiti(プロダクトデザイナー)	イグサを素材にモビールを作るワークショップ。	8月18日	10人
オイルタイプ万華鏡	タゾエクミ(万華鏡作家)	万華鏡の仕組みと歴史を学び、実際に制作する。	8月25日	3人
[MW]ワンダーウォー ル 期待の熊本若手作 家たち	若手作家26名	松永拓己(熊本大学教授)による熊本出身の志の ある若いアーティスト達を育て応援する展示会企 画。作品の購入も可能。	9月4日-29日	—
キットパスワークショッ プ「バルーンにお絵描 き」	日本理化学工業株式会社	画材キットパスを使って、バルーンにお絵かきする ワークショップ	9月16日	17人
レインボーペンダントを 作ろう	監修:レインボー岡山	レインボー岡山さん考案のペンダントを作る自由 参加のワークショップ ※公3-ア1(1)再掲	9月20日-12月8日	—
MIDORO 3Dモデリ ングワークショップ	MIDORO(原型師)	模様をモデリングして3cm位の小さな壺を制作。 3Dソフトの未経験者向け	9月29日	10人
[MW]野田竜太郎 マ リオネットと絵画たち	野田竜太郎(マリオネット作家)	マリオネット作品と共に楽しい絵画作品も展示	10月2日-30日	—
ハートマークビューイン グを作ろう	美術館スタッフ 監修:日比野克彦	「ハートマーク」のパッチワークをみんなで作り、震 災地に届けて景色を変え、気持ちを繋いでいく アートプロジェクト。今回は能登の復興支援として 行う。	10月5日	5人
野田竜太郎 マリオネッ ト作り	野田竜太郎(マリオネット作家)	紙コップや発泡スチロールなどを使った簡単なマ リオネットづくりワークショップ	10月13日	3人
野田竜太郎 似顔絵	野田竜太郎(マリオネット作家)	マリオネット作品を動かしたり、作家が似顔絵を描 いたりする	10月14日	5人
[MW]齋藤陽道@ ALM	齋藤陽道(写真家)	「ライフ2」に関連し、「ライフ2」出品作家で、熊本在 住の写真家・齋藤陽道の作品展示販売	11月1日-12月13日	—
上通まちゼミ 明後日 朝顔プロジェクト熊本 種の収穫	美術館スタッフ	全国約30地域の人々と関わりながら行う「明後日 朝顔」。種を収穫し、蔓でリースを作り、種を数えるな ど冬支度を行うワークショップ	11月10日	13人
アド ヘビカレンダーぬ り絵	制作:アド(ペインター)	アドさんの描いた来年の干支「へび」のカレンダー に色を塗ったり、何か描いたりしてオリジナルのカ レンダーに仕上げるワークショップ	12月1日-29日	42人
[MW]稲恒加奈	稲恒加奈(日本画家)	現代を生きる人々をテーマに何気ない日常風景や お祭りなど、日本文化や歳時記を感じさせる作品 を展示。	12月15日-1月26日	—
い草生産者さんとつく る「しめ飾り」ワーク ショップ	八代市のい草の生産者、itiiti	熊本は日本のイ草生産の9割を占める産地。中 でも生産地である八代のい草農家さんと一緒にい草 でしめ飾りを作り、飾りつけする。	12月28日	15人
ゆるりとBEER the last toast!	美術館スタッフ	年内最終開館日に、ゆっくりビールで一年を振り 返るイベント。ビールの泡に美術館の作品などをプ リントする「神泡アート」機械で提供。	12月29日	31人
[MW]ワンダーウォー ル2-期待の熊本若手 作家たち- 2025	40名の作家	松永拓己(熊本大学教授)による熊本ゆかりの若い アーティスト達を育てる展覧会企画。40名の若手 作家が参加。	1月29日-2月24日	—

MIDORO 初めての立 体塗装	MIDORO(原型師)	MIDORO製作のレリーフに「スポンジ塗装」で立 体の凸凹を生かした彩色を施すワークショップ。経 験、絵心不要	2月24日	11人
[MW]また木村さんに 誘われてシャツを作っ たら今回は30着くらい 出来ました！！	クローバーアート	複数の社会福祉法人で行うイベント。利用者が描 いたイラストをテキスタイルにして、オーダーメード のシャツに仕立てて展示。 ※公3 -3(1)で再掲	2月26日-3月23日	—
プレオープン ゆるカ フェ これで良いのだ	クローバーアート	複数の社会福祉法人で行うイベント。注文と違う飲 み物が来ても「これでいいのだ」と笑って許してほ しいカフェ。※公3 -3(1)で再掲	3月10日	—
ゆるカフェ これで良い のだ	クローバーアート	複数の社会福祉法人で行うイベント。注文と違う飲 み物が来ても「これでいいのだ」と笑って許してほ しいカフェ。※公3 -3(1)で再掲	3月16日	—
[MW]アラキケンジ	アラキケンジ(イラストレーター)	ポップさとストーリー性のある構図が特徴の絵画 からイラストまでを展示・販売	3月26日-4月20日	—
アラキケンジ ポートレイトドローイン グ	アラキケンジ(イラストレーター)	ポートレート即興ドローイング。ポストカードサイズ の紙に顔や全身、横顔などペンを描く。	3月26日	22人
ZINE人プロジェクト	当館学芸員	いつもは捨ててしまう紙を束ねて、切って貼ってコ ラージュにして、本を作るワークショップ。企画協 力:五福公民館	3月27日-4月7日	30人
合計				1,706人

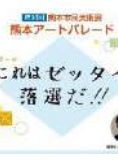
公益目的事業

公1:美術館における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業【令和6年度実績一覧】

ア 展覧会等

1 メインギャラリー(ギャラリーⅠ・Ⅱにおける展覧会)

(1)ギャラリーⅠ・Ⅱ

チラシ	展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
	ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者	アール・ヌーヴォーの代表的な画家アルフォンス・ミュシャのマルチ・アーティストとしての先駆性を紹介する内容。チマル・コレクシオンより、ポスター、書籍の挿絵、素描、油彩画など全169点を出品。	4月1日-4月7日 (6日間) ※2月11日-3月31日 (44日間/前年度)	5,754人
	サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史	2020年に創業60年を迎えた株式会社サンリオ。日本が生んだカワイイ文化の成り立ちや、発展について掘り下げる展覧会。	4月20日-6月30日 (62日間)	52,505人
	ガラスの器と静物画 山野アンダーソン陽子と18人の画家	アートプロジェクト「Glass Tableware in Still Life」を発展させた展覧会。国や言語、ジャンルの違いを超えてくり広げられたプロジェクトから生まれたガラス作品、絵画、写真を展示。	7月13日-9月23日 (61日間) ※台風による臨時休館: 8月29日、30日	6,001人
	ライフ2 すべての君の未来	分身ロボットからアール・ブリュット、現代アートまで、矛盾に満ちた状況においても、未来に向かって制作を続けてきた表現者やそれを支える人まで10組を紹介した展覧会。	10月5日-12月8日 (56日間)	5,981人
	LOVE ファッションー私を着がえるとき	京都服飾文化研究財団(KCI)所蔵の衣装コレクションを中心に、人間あるいは生物の根源的な欲望や本能を照射するアート作品とともに、ファッションとの関わりにもみられるさまざまな「LOVE」のかたちについて考える展覧会。	12月21日-3月2日 (58日間)	8,411人
	第36回 熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上(中学生は除く)の熊本市在住・在学・在勤者または熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができるアンデパンダン形式の公募展。 審査員:森村泰昌(美術家) 出品点数:341点 ※エで再掲	3月16日-3月31日 (14日間) ※4月2日-13日 (11日間/翌年度)	3,287人
合計				81,939人

2 小ギャラリー(ギャラリーⅢ・井手宣通記念ギャラリー)における展覧会

(1)ギャラリーⅢ

チラシ	展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
	CAMKコレクション 静物へのまなざし	コレクションより「静物」を扱った作品を紹介し、作品と静物の関係や「静物をまなざすこと」について考察する展覧会。	4月1日-5月27日 (49日間) ※2024年2月28日- 3月31日 (29日間/前年度)	7,157人
	新収蔵作品展 同時開催:祝「明後日朝顔プロジェクト 全国会議in熊本」関連小展示 New Acquisition 2021-2023	新規収蔵作品と、明後日朝顔プロジェクト全国大会が熊本で開催されることを記念した関連小企画を同時開催。23点を出品。	5月30日~8月4日 (58日間)	9,287人
	森内和久展 CONTEMPLATION/思 いを馳せ、眼差しを注ぐ	熊本出身のアーティスト、森内和久の初期から最新作のインスタレーションまでを紹介する個展。	8月10日-10月14日 (57日間)	6,711人
	CAMKコレクション それはいつかの だれかの どこかの 世界	鑑賞する側の多様性にも光を当てながら収蔵作品を紹介する展覧会。社会包摂的観点から、会場のガイド等を日本語・英語・やさしい日本語で作成した。	10月17日- 2025年1月19日 (78日間)	6,748人

	中村壮志展「漣、燦燦 Echoes」	熊本出身の美術家、映像作家 中村壮志の地元での初個展。民俗文化である「雨乞い太鼓」に着想を得て、サウンドとオブジェクトによる新作のインスタレーションを発表。	1月25日-3月31日 (57日間) ※4月1日-6日 (5日間／次年度)	4,293人
合計				34,196人

(2)井手宣通記念ギャラリー

チラシ	展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
	感じる計画！ PLAN TO FEEL! 熊本市第8次総合計画展	「感じる計画！」をキーワードに、8つのビジョンと響き合う美術作品やイメージ映像の展示、ワークショップの開催などさまざまな形を通して熊本市の総合計画の概要を知るのではなく感じる展覧会。	4月3日-5月27日 (48日間)	7,094人
	新収蔵作品展 同時開催: 祝「明後日朝顔プロジェクト 全国会議in熊本」関連小展示 New Acquisition 2021-2023	新規収蔵作品と、明後日朝顔プロジェクト全国大会が熊本で開催されることを記念した関連小企画を同時開催。23点を出品。	5月30日～8月4日 (58日間)	9,287人
	森内和久展 CONTEMPLATION／思 いを馳せ、眼差しを注ぐ	熊本出身のアーティスト、森内和久の初期から最新作のインスタレーションまでを紹介する個展。	8月10日-10月14日 (57日間)	6,711人
	CAMKスクリーニング Vol. 2 田中功起	長編あるいは特定作家の映像作品を鑑賞する機会を設けるためのシリーズ企画「CAMKスクリーニング」。田中功起の作品《For Every Daydreaming》をループで上映。	10月17日-11月29日 (38日間)	3,248人
	熊本市研修プログラムDOOR 思い出ファッション展	東京藝術大学と連携した熊本市職員向け研修DOORの実践演習として自分の服を持ち寄り、思い出を共有した上で、それらの洋服を展示した展覧会。	12月21日-1月13日 (17日間)	2,004人
	中村壮志展「漣、燦燦 Echoes」	熊本出身の美術家、映像作家 中村壮志の地元での初個展。民俗文化である「雨乞い太鼓」に着想を得て、サウンドとオブジェクトによる新作のインスタレーションを発表。	1月25日-3月31日 (57日間) ※4月1日-6日 (5日間／次年度)	4,293人
合計				32,637人

3 フリーゾーン・階段ギャラリー等における展覧会

(1)フリーゾーン

展覧会名	展覧会内容	期 間
肥後象嵌による仏像宝冠と首飾りの展示	台湾の千霞山海明寺が、肥後象嵌士の稲田憲太郎光秀氏に制作依頼した、境内の聖観音菩薩像に飾る宝冠と首飾りの展示。台湾への搬送前に、完成作品を熊本で広く紹介するとともに、国指定の伝統的工芸品である肥後象嵌の魅力を知ってもらう機会とした。	10月23日-12月9日 (42日間)

(2)階段ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期 間
大城組の巨匠たち展	熊本市の支援学級で長年教鞭をとる大城先生とその教え子たちによる作品展	7月28日-8月25日 (27日間)
熊本市農水産物絵画コンクール	「熊本市農水産物絵画コンクール」の入選作品展	10月26日-11月7日 (11日間)
みんなと違う子 助けてと言えなかった私 発達障がい児 グレーゾーン児 親たちのエッセイ展	一社)sol主催の写真エッセイ展。障害のある子どもたちの保護者から聞き取った言葉をエッセイにし、写真と共に展示。	11月10日-12月4日 (21日間)
熊本大学附属特別支援学校中学部 作品展 「わたしたちのいろ」	熊本大学特別支援学校中等部に通う生徒の造形作品展	12月7日-2025年1月8日 (24日間)
ゴッホを探せ！ 絵画コンクール	熊本市北区役所による絵画コンテストの入賞作品展。区の花・ひまわりがテーマ。	1月11日-23日 (11日間)
あおば支援学校作品展 「明るくなかよくおおらかに」	熊本市立あおば支援学校 小学部・中学部の合同作品展	2月20日-3月19日 (24日間)
ジュニアヘルパー養成事業 メッセージカード作品展	中学校の生徒たちが高齢者に送ったメッセージカードの展示。熊本市社会福祉協議会が行うジュニアヘルパー養成事業「絵手紙による世代間交流」の紹介。	3月24日-31日 (7日間) ※4月1日-10日 (8日／次年度)

イ コンサート、パフォーマンス等

1 ホームギャラリーや街なか(商店街等)における公演

(1)作品上映会

展覧会名	演題	内容	開催日	参加者
ライフ2 すべては君の未来	ドキュメンタリー映画「99 NINETY-NINE 東勝吉 99歳 孤高の無名画家」	88歳で絵を描き始めた故・東勝吉氏の姿を撮ったドキュメンタリー映画の上映会。	10月19日	30人
合計				30人

(2)パフォーマンス

展覧会名	演題	出演	内容	開催日	参加者
ライフ2 すべては君の未来	オープンアトリエ(公開制作)	荒木聖憲、曲棍智恵美、駒田幸之介、内野貴信(出演作家)	出展作家がアートラボマーケットにて各自の作品を公開しながら制作し、貼り絵等の体験ワークショップを実施。	11月9日	40人
合計					40人

ウ 講演会、トークショー、ギャラリーツアー等

1 ホームギャラリーや展覧会場等における講演

(1)アーティスト・トーク

展覧会名	演題	講師等	内容	開催日	参加者
ガラスの器と静物画 山野アンダーソン陽子と18人の画家	オープニングトーク	山野アンダーソン陽子(ガラス作家) 三部正博(写真家)	本展と、そのもととなったアート・プロジェクト「Glass Tableware in Still Life」の中心メンバーによるトーク。	7月13日	45人
新収蔵作品展	アーティストトーク	瀧下和之(出品作家)	出品作家によるトーク。	7月27日	50人
森内和久展 CONTEMPLATION/思いを馳せ、眼差しを注ぐ	アーティストトーク	森内和久	出品作家によるトーク。	8月10日	35人
ライフ2 すべては君の未来	プレトーク	吉藤オリィ(ロボット開発者)、日比野克彦(当館館長)	出品作家によるトーク。	10月3日	40人
ライフ2 すべては君の未来	アーティストトーク	石川真生、キュンチョメ(出品作家)	出品作家が自身の創作について語るトーク。	10月4日	15人
ライフ2 すべては君の未来	アフタートーク	大谷隆広(映画監督)、由布院アートのストック(出品作品所蔵者)	ドキュメンタリー映画の監督と生前の東勝吉氏の交流があり、作品を保存活用するNPOメンバーによるトーク。*日本語字幕上映及び手話通訳付	10月19日	40人
LOVE ファッション	影としての私自身/影を追う旅について	原田裕規(出品作家)	出品作家によるトーク。	12月21日	17人
GⅢ-Vol.158 中村壮志展「漣、燦爛 Echoes」	アーティストトーク	中村壮志(アーティスト、映像作家)、岩田智哉(キュレーター)	出品作家と、以前、中村の展覧会を企画したキュレーター岩田氏を招き、中村の新作や活動について語り合うトークセッション。	3月22日	15人
GⅢ-Vol.159 中村壮志展「漣、燦爛 Echoes」	アーティストトーク	中村壮志(アーティスト、映像作家)、日比野克彦(当館館長)	地方都市をベースにコミュニティと関わり活動を行うことの課題、これからの熊本のアートシーンについて世代を超えて語るトークセッション。	3月30日	30人
合計					287人

(2)講演会

展覧会名	演題	講師等	内容	開催日	参加者
感じる計画！ PLAN TO FEEL! 熊本市第8次総合計画展	熊本市第8次総合計画展オープニングトーク	日比野克彦(当館館長、熊本市文化顧問) 大西一史(熊本市長) 伊藤達矢(東京藝術大学社会連携センター教授)	企画監修を務めた日比野館長と大西一史市長、東京藝大で「文化的処方」の活動に取り組む伊藤教授によるトーク。	4月3日	80人
感じる計画！ PLAN TO FEEL! 熊本市第8次総合計画展	ライフラインとしてのアート/熊本震災復興でのアート活動の現状報告と能登震災復興におけるアート活動を考える	日比野克彦(当館館長・熊本市文化顧問)池田哲也(熊本市市民生活部長)コーダ・ヨーコ(イラストレーター) 田中尚人(熊本大学大学院先端科学研究部 准教授)	熊本地震から8年目にあたり、2025年1月1日に起こった石川・能登地方とオンラインで結び、災害とアートについて考える特別シンポジウム。 オンライン登壇:黒澤浩美(金沢21世紀美術館チーフキュレーター)篠田隆行(金沢大学准教授)能登学舎(珠洲市)井筒健太郎(釜石まちづくり株式会社 釜石PITホールマネージャー)※配信あり	4月14日	50人

サンリオ展ニッポンの カワイイ文化60年史	[トークセッション] ソーシャルコミュニ ケーションをつくり 出すアート&キャラク ター	高桑秀樹(株式会 社サンリオ、サンリ オ展プロデュー サー)、日比野克彦 (当館館長)	サンリオと現代美術館の共通点は?「キー ワードはコミュニケーション」をテーマに、語 り合う。	5月6日	50人
第36回熊本アートパ レード	審査員講演会	森村泰昌(美術家)	入賞作品のスライド審査講評と、本年度審 査員による講演。	3月16日	50人
合計					230人

(3)ギャラリー・トーク

展覧会名	講師等	内容	開催日	参加者
CAMKコレクション 静物へのまなざし	岩崎美千子 (学芸員)	「一点じっくり鑑賞会」 学芸員がファシリテーターをつとめる対話 型鑑賞。	4月27日、5月11日	10人
新収蔵作品展	富澤治子(学芸員)	新規収蔵作品について収蔵の背景などを紹 介するツアー形式のトーク。	6月2日	3人
ガラスの器と静物画 山野アンダーソン陽子と18人の画家	岩崎美千子 (学芸員)	「CAMKファミリーツアー」 0-6 歳の子どもと家族を主な対象に展覧 会を楽しむギャラリートーク。	7月15日	6人
ガラスの器と静物画 山野アンダーソン陽子と18人の画家	岩崎美千子 (学芸員)	「一点じっくり鑑賞会」 学芸員がファシリテーターをつとめる対話 型鑑賞。	8月11日、24日	6人
ライフ2 すべての君の未来	坂本顕子(学芸員)	学芸員が展覧会場を案内するツアー。	10月26日(ファミリーツ アー)、11月2日 11月17日(手話通訳 付)、12月8日	43人
ライフ2 すべての君の未来	岩崎美千子 (学芸員)	「一点じっくり鑑賞会」 学芸員がファシリテーターをつとめる対話 型鑑賞。	11月4日	4人
CAMKコレクション それは いつかの だれかの どこかの 世界	坂本顕子(学芸員)	「やさしい日本語&英語で『一点じっくり鑑 賞会』／“Focused Art Appreciation Session” in Simple Japanese & English 日本語ネイティブではない人を主な対象と し、学芸員がファシリテーターをつとめ、ひ とつの作品を時間をかけて鑑賞する。難し い日本語は使わず、英語での参加も可能 (通訳付)。	11月24日	7人
LOVE ファッション	池澤茉莉(学芸員)	近くに勤めていても、夜まで仕事で美術館 に足を運ぶ機会のない中央商店街の方々の ための閉館後(20時以降)の特別ツアー	1月15日、1月18日	23人
GⅢ-Vol.158 中村壮志展「漕漕、燦燦 Echoes」	中村壮志(アーティ スト、映像作家)	オープニングトークとしてのギャラリーツ アーを行った。	1月25日	20人
LOVE ファッション	オリバー・エドワ ーズ(ボランティアス タッフ)	ボランティアと展覧会会場を英語で会話す るツアー。	2月16日	2人
合計				124人

エ 公募による展覧会

1 熊本市にゆかりのある人なら誰でも出品することができ、出品された作品は全て展示する市民公募展の開催

展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
第36回 熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上(中学生は除く)の熊本市在住・在学・在勤者または熊 本市出身者なら誰でも無審査で出品することができるアンデパ ンダン形式の公募展。 審査員:森村泰昌(美術家)出品点数:341点	3月16日-3月31日(14 日間)	3,287人
合計			3,287人

オ 他館での企画展事業支援

展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
版画家 秀島由己男 コレクション展 一創 作のひみつー	熊本出身の版画家秀島由己男の作品・コレクションを保管・調査 する和水町が企画した個展。(玉名市立歴史博物館こころピア レクチャーホール)	9月21日-10月27日 (35日間)	706人
合計			706人

カ 災害復興支援事業

1 無料展覧会・企画展等被災者への復興応援事業

2 被災地の自治体や文化振興を目的とする団体等への寄付

※上記1.2については、令和6年度は実施していない

公2:美術館等における文化芸術の調査研究等事業【令和6年度実績一覧】

事業内容	主な研究分野
1.美術館・文化芸術全般	やなせたかし展
	和食展
	遠山昇司展
	こうの史代展
2.九州又は熊本ゆかりの作家	米村知倫、酒井一吉、しまうちみかなど九州内各県の作家調査
3.熊本ならではの文化や歴史	生人形ほか
4.市収蔵作品、他館からの借用作品	市収蔵作品(井手宣通ほか)についての調査研究
	和水町管理の秀島由己男作品の作品調査

調査研究内容の公表方法	実績
1.展覧会、講演、紀要・論文等	展覧会開催及び図録の発行。講演会等の開催や論文寄稿等による公表 2023年度年鑑【アートガマダス】トークイベント載録等を公式HPでweb掲載
2.情報システム管理によるデータの蓄積、ホームページや館における閲覧の公表	市収蔵作品リスト(1,378点)
3.収蔵作品の展示公開／他館への貸出／特別利用	熊本市現代美術館における展示公開(83点) 他館への貸出(8点) 特別利用(熟覧:0点、撮影:0点)
4.館内での閲覧(図書資料等)	ホームギャラリー、アーツスカイギャラリー、キッズサロン(街なか子育てひろば)における閲覧
5.借用元への情報提供	調査研究内容についての情報提供

職員ごとの調査研究内容		実績
岩崎千夏	執筆	「巻頭言」『AG2023』2024年／熊本市現代美術館(日比野館長インタビュー書き起こし)
		webメディア アートと都市と公共空間 プロジェクトスタディ
		「まちの未来を美術館で考える～熊本市現代美術館の活動～」(インタビュー内容校正)
		熊本市職員向け研修プログラムDiversity on the Arts Projectプログラム実践演習記録集
		「思い出ファッションー個としての公務員ー」(編集)
	講演	アートと都市と公共空間フォーラムVol.3 「感じる計画！ PLAN TO FEEL! 熊本市第8次総合計画展について」2025年2月3日
	外部委員	公益財団法人熊本県立劇場役員候補者選考委員会委員
		「新しい広場」としての熊本県立劇場活性化検討委員会
		独立行政法人日本芸術文化振興会 美術・メディア芸術等の創造普及活動/文化施設展示活動審査委員
		坂本善三美術館運営協議会委員
必由館高等学校改革に関するコンソーシアム会議委員		
熊本県文化協会常務理事(館長代理)		
熊本県文化懇話会常任世話人(館長代理)		
富澤治子	執筆	【一筆① 街中の現代美術館」熊本日日新聞朝刊、2024年10月3日
		【一筆② 心豊かに生きる」熊本日日新聞朝刊、2024年10月10日
		【一筆③ 秀島由己男が遺したもの」熊本日日新聞朝刊、2024年10月17日
		【一筆④ 存在感増すアラフィフ世代」熊本日日新聞朝刊、2024年10月24日
		【一筆⑤ 石内さんと石牟礼さん」熊本日日新聞朝刊、2024年10月31日
		【一筆⑥ 生人形との出会い」熊本日日新聞朝刊、2024年11月7日
		【一筆⑦ 海外での作品調査」熊本日日新聞朝刊、2024年11月14日
		【一筆⑧ 怖いものと向き合う」熊本日日新聞朝刊、2024年11月21日
		【一筆⑨ コロナ禍と美術館」熊本日日新聞朝刊、2024年11月28日
		【一筆⑩ クラウドファンディング」熊本日日新聞朝刊、2024年12月5日
		【一筆⑪ パフォーマンスを收藏する」熊本日日新聞朝刊、2024年12月12日
		【一筆⑫ 收藏作品のバージョンアップ」熊本日日新聞朝刊、2024年12月19日
		【一筆⑬ 子供と美術館」熊本日日新聞朝刊、2024年12月26日
	講演	「版画家 秀島由己男コレクション展ー創作のひみつー」ギャラリートーク、玉名市立歴史博物館ころこピア、2024年9月21日
	講演	熊本ロータリークラブ講演「生人形研究の最新」熊本ホテルキャッスル、2024年10月11日
		「美里町中央小学校で画家の瀧下和之さんに熊本市現代美術館学芸員がお話を聞く」 美里町中央小学校、2024年11月15日
	監修	「秀島由己男作品保存管理アドバイスならびに作品調査」和水町教育委員会、2024年5月27日-2025年2月22日まで4回実施
作品選定、展示、解説パネル監修「版画家 秀島由己男コレクション展ー創作のひみつー」、 玉名市立歴史博物館ころこピア、会期2024年9月21日ー10月27日(展示9月14日、トーク9月21日)		

坂本顕子	執筆	「手探りの挑戦から17年を経て——「帰ってきた！ 石垣プロジェクト」とアートラボマーケットからの風景『DNP artscape キュレーターズノート』2024年8月5日
		孤独や不安の時代にミュージアムができること——「ライフ2 すべては君の未来」『DNP artscape キュレーターズノート』2024年11月27日
		「共に生き続ける未来へ ライフ2 すべては君の未来」熊本日日新聞朝刊、2024年11月6日
	発表	トーク「ART×BRANDING KUMAMOTO #1これからアートで食べていきたい人のために」クロスポイント、2024年6月8日
		講演会「生きることは、表現すること～アートで伝えたいありのままの私～」令和6年度熊本県知的障がい者施設協会職員研修会、2024年11月1日
		トーク「ましきまちづくりスクール 小さな土木～震災遺構保存プロジェクト～」きやま座、2024年11月30日
		トーク「52人によるアルスコーレの175日間」山口情報芸術センター、2024年12月14日
	外部委員	講演会「東勝吉作品を語るタベ2」由布院アートホール、2025年2月14日
		地域創造 地方公立美術館活性化委員会委員
池澤茉莉	寄稿	「遠距離現在 Universal / Remote」『デアルテ』「ミュージアム・ミュージアム」九州藝術学会／2024年
		作品解説(小谷元彦、澤田知子、松川朋奈)『LOVE ファッションー私を着がえるとき』カタログ、京都服飾文化研究財団／2024年
	その他	坂口恭平パステル画オンライン・カタログ・レゾネ更新 坂口恭平「Museum」作品調査及び展示補助
岩崎美千子	執筆	「物語と現実と夢幻と：宮本華子の提示する『在る家』『未来への視点Vol.2 シリーズ2 宮本華子個展 在る家』カタログ(展覧会開催：大川市立清力美術館・2024年7-8月)、2025/3
里村真理	執筆	武内明子「空っぽの詩」作品集テキスト執筆
	登壇	アーティストカフェFUKUOKA 「Portraits 描かれているのはだれ？ 名知聡子 小山田将監」展 関連クロストーク 司会・登壇
	外部委員	天草市立キリシタン資料館運営委員

イ 熊本市収蔵作品整理、保管、貸出等事業

内容		点数等	
収蔵作品の整理、保管、貸出	市収蔵作品点数	1,378点	
	熊本市現代美術館における展示公開	83点	
	他館での展示のための貸出 ※いずれも無償で貸与	田部光子《人工胎盤》	1点
		田代順七《新町界隈風景(新町所見)》	1点
		田代順七《防波堤》	1点
		田代順七《初秋の庭》	1点
		田代順七《城内風景(A)》	1点
		田代順七《街角》	1点
		田代順七《球磨川》	1点
		田代順七《鳥小屋》	1点
		合計	8点
	特別利用(熟覧・撮影等)	合計	0点
	作品画像貸出件数	ヤノバケンジ《アトムカー(黄・黒・白)》	1点
		安本亀八《相撲生人形》	2点
		安本亀八《三歳女兒利子像》	1点
		日比野克彦《GRAND PIANO》	1点
		合計	5点
	作品修復	田代順七《初秋の庭》	1点
令和6年度 新規作品収蔵	購入	安部典子《水源—Water source》2022年	1点
		坂本夏子《Tiles Signals, quantum painting 001》2021年	1点
		原田裕規《シャドーイング(ダン)》2023年	1点
		原田裕規《シャドーイング(スズ)》2023年	1点
		齋藤陽道《草千里ヶ浜》2023年	1点
		合計	5点
	寄贈	秀島由己男《霊歌B》1986年	1点
		秀島由己男《我はいと高き神によばはん わがために百事を なしをへたまふ神によばはん(版画集 舊訳聖書『詩篇』より)》1989年	1点
		秀島由己男《馬(土方定一『カレバラス国に名高き かの物語』表紙用挿絵)》1972年	1点
		秀島由己男《その中にお母さんを見た兵士(土方定一『カレバラス国に名高き かの物語』挿絵)》1972年	1点
		秀島由己男《わたしの馬(土方定一『カレバラス国に名高き かの物語』挿絵)》1972年	1点
		秀島由己男《手(土方定一『カレバラス国に名高き かの物語』挿絵)》1972年	1点

			横山裕一《《山頂》のためのドローイング (1頁目)》2007年	1点
			原田裕規《シャドーイング(トミゴロウ)》 2023年	1点
			原田裕規《シャドーイング(リエ)》2024年	1点
			合計	9点
図書資料管理	図書資料 等の収集	開架用書籍 (絵本、漫画等含む)	176冊	304件
		刊行物	18誌	
		研究書 (展覧会企画等に利用)	99冊	
		映像・音楽資料	11本	
	図書装備	装備	0冊	71冊
		コーティング	71冊	
	図書資料 データ管理	一般図書(絵本、漫画等含む)	32,228件	34,590件
		逐次刊行物	278件	
		映像資料(CD等含む)	2,084件	

公益目的事業
公3:美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業【令和6年度実績一覧】

ア 教育普及
1 市民参加型ワークショップ
(1)ワークショップ

展覧会名	タイトル	出演	内容	開催日	参加者
感じる計画！ PLAN TO FEEL! 熊本市第8次総合計画展	感じてつくるワークショップ@ALM	日比野克彦 (展示監修)	総合計画展に掲げられた8つのビジョンをイメージして、自分だけの作品を制作してみるワークショップ	4月3日 -5月27日	800人
サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史	白い石をハローキティに変身させよう！	担当学芸員 監修:日比野克彦	苓北町で拾った白い石に目と鼻とリボンを描くと、ハローキティに見えてくる…。日比野の着想と、サンリオのキャラクターデザイン力と、アートの見立ての魅力を味わうワークショップ	4月21、28、29日、5月3-6、11、12、18日、6月1、2、8、9、15、16、22、23日	202人
ガラスの器と静物画 山野アンダーソン陽子と18人の画家	目で見る、カメラで見る	三部正博 (出展作家)	一眼レフデジタルカメラと4×5 フィルムカメラを使って、モノクロームの「ガラスの器のある風景」を撮影する。自分の目、ファインダー越し、ピントグラス面を通しての3つの異なるとらえ方を体験し、「ものを見る」ことを深めていくワークショップ。	7月28日	11人
アートコミュニケーション事業	明後日朝顔全国会議2024 in 熊本	日比野克彦、明後日朝顔プロジェクト参加地域の皆さん	人と人、地域と地域、人と地域をつなぐ「明後日朝顔プロジェクト」。年に一度、30カ所の参加地域のうちの1箇所で行う全国会議を熊本で開催し、全国各地の参加者が結集。	8月3日、4日	75人
森内和久展 CONTEMPLATION ／思いを馳せ、眼差しを注ぐ	文字は変化し、大空を舞う	森内和久 (出展作家)	片ぼかしの技法を使ってポストカードを制作した後に、展示作品の裏側を鑑賞しそこに各自ドロ잉を加え完成させるワークショップ。	8月24日	20人
森内和久展 CONTEMPLATION ／思いを馳せ、眼差しを注ぐ	卵の泉を作ろう	森内和久 (出展作家)	石膏を使って卵型のオブジェを作るワークショップ。	9月22日	15人
ライフ2 すべての君の未来	レインボーワークショップ	レインボー岡山 (出展作家)	会場内の虹のトンネルに飾りつけを行う参加型ワークショップ	10月5、12、20、26日、11月3、9、17、24、30日	1,000人
ライフ2 すべての君の未来	分身ロボットOriHimeとお話してみよう	分身ロボットOriHimeパイロット(出展作家)	土日祝の午後に分身ロボットOriHimeのパイロットが来場者とコミュニケーションを取るワークショップ	10月5日-12月8日の土日祝午後	400人
アートコミュニケーション事業	プロジェクタープロジェクト	担当学芸員	五福公民館で美術館の機材である業務用プロジェクターを使って即興的にクリエイションを立ち上げてみる。光と音と身体でその場限りの異世界をいろいろな人と作ってみる試み。	12月6、14、21、27日	4人
LOVEファッションー私を着がえるとき	【ワークショップ】わたしの解剖	藤谷香子 (衣裳家)	「LOVEファッション」の5つの章について話をしながら、自分自身の内なる欲望や願望をもとにファッションアイテムを作成。	2月8日	18人
LOVEファッションー私を着がえるとき	【ワークショップ】服をデザインして小物をつくろう	—	プリント生地「100ネエサン」に刺繍やペン、ビーズなどでオリジナルのドレスをデザインし、フェルトを用いて小物を制作。	12月15日-3月2日	1,001人
LOVEファッションー私を着がえるとき	【ワークショップ】わたしの拡張	藤谷香子 (衣裳家)	「LOVEファッション」の第1章「自然にかえりたい」について話をしながら、熊本市動植物園でえられる自然素材などを用いたファッションアイテムを作成。	2月15日	5人
アートコミュニケーション事業	アーティストトーク 島袋道浩+野村誠 旅の途中	島袋道浩(美術家)、野村誠(作曲家)	さまざまな境界を飛び越えて、異なるものを繋いでいく二人のアーティストによるトークセッション	3月2日	15人
アートコミュニケーション事業	ZINE人プロジェクト	担当学芸員	いつもは捨ててしまう紙を束ねて、切って貼って、本を作る。五福公民館の一角に、ZINEをつくる基地を創出する最初の一步としての試み。	3月12日	17人

アートコミュニケーション事業	美術館を遊ぶ からだと、おとと、びじゅつの時間《Echo-Logy》	佐久間新(ジャワ舞踊家)、砂連尾理(ダンサー、振付家)、野村誠(作曲家)、山本聖子(美術家)	ダンサー、作曲家、美術家4名が繰り広げる領域横断的、実験的、即興的な4日間。一般の方が参加して作るプロジェクト。 Echo-Logy1:トーク&パフォーマンス Echo-Logy2:木版ワークショップ「木版画の音を録る」 Echo-Logy3:ダンスワークショップ Echo-Logy4:パフォーマンス「ワークショップを重ね刷りする」「タレレハのエコー」 Echo-Logy5:アート遠足 クロージングトーク	3月20日-23日	1)22人 2)12人 3)10人 4)25人 5)20人 6)10人
合計					3,682人

2 美術館ツアー、出張授業等

1)美術館を活用してもらうために、申し込み制で家庭教育学級等をはじめ、一般や学校のグループ向け美術館ツアーを実施。

参加者	受入団体数	参加人数
未就学児	4団体	41人
小学校	37団体	767人
中学校	17団体	318人
高校	12団体	355人
大学	11団体	301人
専門学校	12団体	449人
一般	23団体	388人
合 計	116団体	2,619人

(2)視察

団体名	担当課等	内容	開催日	参加者
水戸芸術館	—	行政と連携して開催した、行政の最上位計画である「第8次総合計画」の展覧会の視察	4月20日	1人
広島修道大学	—	行政と連携して開催した、行政の最上位計画である「第8次総合計画」の展覧会の視察	5月18日	2人
岡山市	政策企画課	行政と連携して開催した、行政の最上位計画である「第8次総合計画」の展覧会の視察	5月24日	3人
甘日市市	文化政策課	市立美術ギャラリー等、公共施設の複合化の検討に伴う視察	7月1日	6人
アートと都市と公共空間	—	行政と連携して開催した、行政の最上位計画である「第8次総合計画」の展覧会のリサーチ、インタビュー	9月8日	2人
フランス、ディジョン市訪問団	文化政策課・県国際課	Directrice de l' Ecole National Supérieure d' Art de Dijon(ENSA ディジョン)学長 アメール・ナフティ氏の、フリーゾーンや展覧会の視察・収蔵作品についての聞き取りなど	11月21日	1人
子どもと美術館・林有維	こども支援課	現代美術館における街なか子育てひろばの取り組みについて	1月10日	1人
合計				16人

2)美術館をより身近に感じてもらい次回の活用を促すため、申し込み制で学校等に向けた出張授業やワークショップ

(1)アートバス(展覧会鑑賞)

種別	対象	展覧会	開催日	参加者
鑑賞	慶徳小学校 (3-4年生)	ガラスの器と静物画 山野アンダーソン陽子と18人の画家	7月17日	45人
	川口小学校 (6年生)	ライフ2 すべては君の未来	12月6日	8人
	武蔵小学校 (4年生)	LOVEファッションー私を着がえるとき	2月21日	32人
	碩台小学校 (6年生)	LOVEファッションー私を着がえるとき	2月26日	28人
合計				113人

(2)アートプログラム

タイトル	対象	内容	開催日	参加者
素材・造形あそび	平成さくら支援学校 木工班	さまざまな形・材質の木片を使って、好きな造形を試してみるワークショップ。木片の形、手触り、重さなど、手にした時の直感で組み合わせやペイントを施してみる。 講師:脇田あおい(アーティスト)	11月15日	12人
あしたを運ぶ鳥	麻生田小学校 なのはな学級	鳥の形をした木のプレートに、アクリル絵の具やクレヨンを使って、自由にペイントするワークショップ。 講師:コーダヨーコ(イラストレーター)	12月13日	17人
フリーカップをつくろう	御幸小学校(6年生)	初心者でも挑戦しやすい陶芸体験。玉づくりと紐づくりをベースにした湯呑やマグカップなど、フリーカップを制作。 講師:田口和代(陶芸家)	12月23日	105人

フリーカップ、お菓子皿をつくろう	託麻北小学校 かがやき学級	初心者にも挑戦しやすい陶芸体験。玉づくりと紐づくりをベースにした湯呑やマグカップ、型を使ったお菓子皿などを制作。 講師：田口和代(陶芸家)	2月18日	15人
			合計	149人

(3)出張授業、研究会等

種別	対象	内容	開催日	参加者
出張レクチャー	熊本デザイン専門学校	サンリオ展の企画意図について	5月21、22日	150人
夏期造形教育研修会	熊本県内の小中学校教員	毎年夏に行われている造形教育研修会にて、日比野館長によるご用聞きを実施。	7月2日	100人
出張ワークショップ	熊本市立城東小学校4年生	明後日朝顔プロジェクト種まき	7月3日	50人
出張授業	熊本市立力合西小学校2年生	明後日朝顔プロジェクトについて	7月10日	100人
出張ワークショップ	山都町社会福祉協議会「なつやすみこどもday」参加者	夏休みの子どもデイサービスとして、アート×ケア(福祉)をテーマに様々なプログラムを体験するイベント。その一環として、「ブラックライト★水族館 光る絵の具で深海のいきものを描こう!!」を開催。	8月2日	27人
教育ICTを活用したオンライン学習支援	不登校の小学生・中学生	「フレンドリーオンラインわくわく学習」への協力で、日比野館長による感じて作るワークショップを実施。	9月13日	80人
出張レクチャー	崇城大学 芸術学部美術学科	「博物館教育論」の実践演習として上通アートプロジェクト「かえっこバザール」に学生が参加するため事前の座学行った。	9月27日	11人
出張ワークショップ	熊本市立城東小学校4年生	「明後日朝顔プロジェクト種の収穫」	11月6日	50人
出張レクチャー	熊本県地歴公民科の授業研究会 世界史部会の教員	高校の世界史授業のヒントとなる、歴史と美術のクロスポイントについて講義。「静物画に見る世界史」と題し、17世紀オランダにおける静物画の隆盛について紹介。	11月8日	15人
教育ICTを活用したオンライン学習支援	不登校の小学生・中学生	「フレンドリーオンラインわくわく学習」への協力で、「ライフ2」展を中継。	11月13日	80人
講演会	美里町中央小学校	全校生徒を対象にした講演会「美里町中央小学校で画家の瀧下和之さんに熊本市現代美術館学芸員がお話を聞く」(画家瀧下和之と出演)	11月15日	138人
作品鑑賞会	熊本県立大学 「人間と芸術」受講生	「ライフ2」「CAMKコレクション」の作品を用いて対話型鑑賞を実施。	11月23日	49人
作品鑑賞会	熊本大学附属小学校1年生	ライフ2展の団体作品鑑賞	11月28日	106人
触れたり音で楽しむ美術館利用支援	熊本盲学校	フリーゾーンやライフ2展でのさわる作品鑑賞や分身ロボットOriHimeとの交流	11月29日	5人
作品鑑賞会	一般	Kumamoto Education Weekスピンオフ企画。弱視の人と一緒に「CAMKコレクション」の出品作品を用いて対話型鑑賞を実施。	12月7日	7人
収蔵作品のスライドを用いた授業研究	池田小学校	日比野克彦作品のスライドを用いた鑑賞と制作の授業の導入	1月30日	70人
出張レクチャー	九州ルーテル学院大学	講義「図画工作」のゲスト・ティーチャー枠。教職を目指す学生向けに、熊本市現代美術館の学校連携事業について紹介。	1月25日	41人
			合計	1,079人

(4)その他

種別	連携先	内容	開催日	参加者
熊本市新規採用職員研修	熊本市人材育成センター	熊本市新規採用職員(約240名)に向けて、第8次総合計画展の説明とワークショップのファシリテーターを実施	4月15日	240人
博物館実習	各大学	学芸員を志す学生に向けた実習	8月17日-8月23日(6日間)	14人
ナイストライ(中学生職場体験)	京陵中学校	ナイストライ(中学生職場体験)	7月10日・11日	2人
	白川中学校	ナイストライ(中学生職場体験)	9月11日・12日	2人
	マリスト中学校	ナイストライ(中学生職場体験)	10月24-25日	2人

熊本市新規採用職員及び採用5年目職員向け「創造力向上研修」	熊本市人材育成センター	熊本市新規採用職員と採用5年目職員に向けて、日比野館長が想像力・創造力とコミュニケーション能力強化のための研修を実施(7-8名のチームとなり、段ボールで「城」を制作	10月31日	433人
美術鑑賞アプリ「あとみる」実証実験	佐賀大学 株式会社 佐賀電算センター	佐賀大学とIT企業佐賀電算センターが共同開発中の美術鑑賞アプリの実証実験に参加。ギャラリーⅢでの展覧会「CAMKコレクション それはいつかの だれかの どこかの 世界」に出品している作品について、来場者がウェブアプリ「あとみる」を通じて鑑賞を深めていく。	10月17日-2025年1月19日 (64日間)	67人
職場体験(見学)	おおぞら高等学院	通信制高校の職場見学	11月20日	10人
合計				835人

イ 地域文化芸術活動支援

1 若手文化芸術活動者等の支援

種別	連携先	内容	開催日	参加者
音楽	くまもと大邦楽祭実行委員会	6月9日に市民会館シアーズホーム夢ホームで行われる「くまもと大邦楽祭2024」のプレイベントとして開催。箏による演奏会。	4月13日	80人
音楽	STREET ART-PLEX KUMAMOTO実行委員会	STREET ART-PLEX KUMAMOTO On the corner「野村 誠 & 吉森 信」作曲家・ピアニストの野村誠と吉森信の共演	10月13日	85人
合計				165人

2 フリーペーパーの発行等

内容	詳細
ART KISS LETTER	当館で開催する展覧会の各種情報等を掲載するフリーペーパー。通年で3回(114-116号)発行。

3 地域個人や団体が行う文化活動の支援やネットワーク構築

(1)共催・後援

種別	連携先	内容	開催日
共催	ぼんくま実行委員会	地域の本関係者によるブックフェスティバル「BON KUMA HON 2024 VOL. 10」の一参加者として、「新しい古本0円市」、ワークショップ「美術館で本をつくる」、座談会「みんなで語る図書館の思い出」を当館内で実施。	5月22、24、25日 (全体は5月18日-26日)
共催	熊本市イベント推進課	火の国まつり関連イベント「こどもおもしろおばけ屋敷」をアートロフトで開催。劇団きららによる10日間、212回公演のおばけ屋敷で、2,150名が来場	7月25日-8月4日
共催	熊本市教育センター	アーティスト興梠優護による、大きな布に思い切り絵を描く小学生を対象にしたワークショップ、「描いてみよう「みんなの夢で創った未来」～ アートワーク with 興梠優護～」のアートロフトでの開催。こども12名が参加。1月のエデュケーションウィークには館内に作品を展示	8月7日(ワークショップ) 1月10日-19日(作品展示)
共催	熊本県立熊本高等学校 おにぎりチーム	生徒が自ら企画し、実行する、学校の探究活動の一環としてこども向けのワークショップ「やっちゃえ！はっちゃけ！大作戦☆」企画、実施。子どもたちが心置きなく自分を表現し、内面をアウトプットすることができる、あらゆる制限を取り払った場を提供し、子どもたちに自由に自分を表現する経験を提供しようというもの。こども10名が参加	8月8日
共催	熊本県立劇場、熊本学習支援センター	明後日朝顔会議に向けて、県外各地から来る人たちをお迎えするための会場を彩る看板を制作した。熊本県立劇場、熊本学習支援センターと協働で実施。学習支援センターを利用する中高生16名が参加。	8月24日
共催	熊本市文化政策課	「工芸酒器でお酒を愉しむ一日 匠の手触り」熊本の工芸品とBar HIRONOSUKEがコラボした工芸酒器でお酒を愉しむ一日。当日はBar HIRONOSUKEが1杯500円で美味しいお酒を提供。気にいった工芸酒器は購入も可能。その他工芸品の販売も行う。	9月7日

共催	上通商栄会	上通アートプロジェクト2024「かえっこバザール」 びふれす広場を会場に、おもちゃの交換＋アートワークショップを開催。中心市街地で子どもがのびのびと過ごせる体験を作る。崇城大学、ルーテル学院大学の学生との連携も。	10月12日
共催	熊本市文化政策課	「匠の手触り 工芸食器でイタリアンを愉しむ一日」 熊本の工芸品とPaolo/ケータリングKEITAがコラボした工芸食器でイタリアンを愉しむ。12名限定の特別なコース料理を工芸食器で堪能する。	12月15日
共催	熊本市文化政策課	「工芸酒器でお酒を愉しむ一日 匠の手触り」 熊本の工芸品(鬼瓦、象嵌、陶器)とイラストレーター・ペドロ山下がコラボし、展示と、熊本の工芸酒器でお酒を味わうイベント。和包丁の試し斬りや工芸品販売、作家との交流。	12月15日
共催	熊本県立劇場	熊本出身の古家優里が主宰する「プロジェクト大山」のパフォーマンスを、ホームギャラリーで開催。ユーモラスでありながら迫力満点のパフォーマンスと幕間のジャズで、緊張と緩和の1時間、14時からと17時からの2回公演。160名が来場	2月23日
共催	ヒロ・デザイン専門学校	田山淳朗賞 高校生・中学生ファッション画コンテストin九州・沖縄の展示及び表彰	2月1日
共催	福祉の魅力発信 TwoOut	障害のある人のデザインを活用したアイテム制作やゆるカフェ、トークショーの実施(アートラボ、ホームギャラリーで開催)	2月27日-3月23日

(2)助言・文化活動支援

タイトル	連携先	内容	開催日
美術館以外の相談・ブレインストーミング等	市民(28回)、他施設・団体・学校・企業等(24回)、市各課(39回)	美術や美術館以外の相談等。まちづくり、障害、生きがい、仕事の方向性や方策等についてのブレインストーミングに異なる立場から参加。芸大・文化顧問関連の協議含む	のべ90回 参加者のべ177名
Museum展示サポート等	Museum(坂口恭平美術館)	坂口恭平によるパステル画の調査及び展示サポート等 ※公2アに再掲	随時
ミュージアムIPM指導および作品調査	和水町	和水町所蔵の秀島由己男作品保存管理アドバイスならびに作品調査 ※公2アに再掲	5月18日・7月6日・9月14日・2月22日
日比野館長のご用聞き(文化顧問としての懇談、課題相談等含む)	熊本市/文化政策課、人材育成センター、都市デザイン課(KIMOIRIDON)、市街地整備課、心の健康センター、東区、政策企画課	市役所各課に日比野館長と美術館職員が伺い、各課の課題やモヤモヤに対して柔らかい考え方や異なる角度での対話を行う。市職員自らが新しい視点や前向きな思考に触れることで、課題へのアプローチのヒントを得ることを目的とする	のべ27回/7課 参加者のべ90名
熊本市文化顧問業務支援	熊本市文化政策課	熊本市文化顧問の業務として、東京藝術大学のプログラム研修「Diversity on the Arts」(DOOR)を熊本市職員(20名)が受講。年間10回の講義(オンライン)と4回の実践演習の中で、講義は場所の提供及び開催協力、演習は企画や実施協力を行った。 第1回:肥後朝顔鑑賞・育成担当職員の話聞き、体験／第2回:動画クリエイター展体験・web3講義・交流／第3回:映画「目の見えない白鳥建二さん、アートを見にいく」の鑑賞、白鳥建二(映画出演者)、川内有緒氏(映画監督)、日比野館長とのトーク、白鳥さんとの「遠距離現在展」鑑賞会／第4回:総合計画のビジョンをつくるワークショップ	ガイダンス:6月14日 講義:6月28日、7月12日、8月9日、9月20日、10月25日、11月29日、1月8日、2月20日、 実践演習:7月12日、10月4日、12月20日、3月5日、3月14日 参加者:のべ340名
坂本善三美術館運営協議会	坂本善三美術館	坂本善三美術館の事業運営に関する意見、助言等	12月2日
熊本市立必由館高校改革に関するコンソーシアム会議	熊本市学校改革推進課	市立高校改革の一環として、市教育委員会が検討する普通科改革等に関する指導・助言	8月5日 3月21日
熊本市シルバー文化作品展への協力	熊本市老人クラブ連合会	熊本市シルバー文化作品展への助言・協力(展示、撤収、貸出等)	1月31日-2月8日 (展覧会期)

ひろばニスト報告会	熊本市市街地整備課	1年間ひろばでの活動を企画したりコーディネートしたりする力を付けるための研修を受けた市民との対話、助言等	3月20日
-----------	-----------	--	-------

(3)ネットワーク構築

タイトル	連携先	内容	開催日
「新しい広場」としての熊本県立劇場活性化検討委員会	公益財団法人熊本県立劇場	熊本県立劇場のエントランスの活用方法等についての有識者による検討会議	7月22日、11月8日、11月22日、2月10日
熊本県文化協会常任理事会/文化懇話会世話人会・総会	県内の文化関係団体と市町村文化協会	熊本の文化の育成発展に寄与する事業協力、県内の文化関係団体等との情報交換等	4月12日、10月10日、3月26日
熊本市文化創造協議会	熊本市文化政策課	地域文化振興を図る諸団体・機関等の相互の連絡調整会議	4月23日、5月30日、2月9日、3月24日
地域創造「公立美術館活性化事業企画検討委員会」	地域創造	全国の中小の地方公立美術館の企画力アップのための巡回展提案・審査・内容等の指導に関わる委員会 ※公2アに再掲	6月1日、1月31日、3月26日
日本博物館教育研究所(子育て支援研究部会)	子どもと美術館、株式会社Kikkake	ミュージアムにおける子育て支援の取り組み	7月5日
熊本県立美術館 友の会	友の会世話人会 県下美術館	熊本県内の美術館の相互割引、年4回の広告物発送、友の会運営	—

(4)審査・表彰

タイトル	主催	内容	開催日
第3回東区「まち☆キラ」コンクール	東区	地域の課題であるごみステーションの美化を考えることをテーマにした、小学生を対象にしたポスター・絵画コンクール特別賞審査	10月2日(審査) 1月19日(表彰)
田山淳朗賞 高校生・中学生ファッション画コンテストin九州・沖縄	ヒロ・デザイン専門学校	熊本出身のファッションデザイナー田山淳朗氏による、中学生・高校生を対象にしファッション画コンテストの講評	10月19日(講評)
令和6年度心の輪を広げる作文・ポスターコンクール	熊本市障がい保健福祉課	誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」を目指し、障害のある人に対する国民の理解と関心を深めること等を目的とした「障害者週間のポスター」審査、講評	9月6日(審査)
第49回熊本県高等学校美術展	熊本県高等学校文化連盟美術専門部 熊本県高等学校教育研究会美術、工芸部会	熊本県高等学校美術展の特別賞の一つとして「熊本市現代美術館賞」を選定	10月21日(審査) 10月27日(表彰式)
マナブ間部記念児童絵画作品展	宇城市不知火美術館	宇城市の小学1年生から6年生までのほぼ全児童と中学1年生から3年生までの生徒(一部)が、図工・美術の授業で書いた作品(約1,000点)の審査、講評	12月23日(審査) 2月1日(表彰)

(5)まちづくり協力

種別	連携先	内容	開催日	参加者
上之裏通りブランディング	市街地整備課	上乃裏商店会のブランディング構築にあたっての商店会キックオフミーティング、商店会会員と地域住民によるワークショップ	4月20日 6月24日	40人
熊本市中央区地域と企業等を結ぶ応援事業	中央区まちづくりセンター	課題を抱えている地域団体と、社会貢献を希望する企業や学校等をマッチングする取組を支援	7月17日	50人
熊本城・中心商店街ARスタンプラリー	商業金融課・凸版印刷	地域資源を活用したまちなかでの回遊性向上や魅力の再発見に繋げることを目的に、熊本城から中心商店街を回遊するデジタルスタンプラリーのスタンプ地として協力。企画全体としては、11,101名がARを体験	9月14日－ 12月1日	1,385人
台湾映画祭in Kumamoto 2024	中心商店街等連合協議会	TSMCの進出に合わせ、台湾への興味関心が増幅する中、台湾映画の魅力を市民に伝え、来熊台湾人をおもてなしする事業として映画祭を企画、当館で開催	11月2日、3日	329人
合計				1,804人

4 文化芸術活動を地域づくりや都市の活性化に繋げるための講演会等

(1)ワークショップ、シンポジウム、講演会等

タイトル	連携先	内容	開催日	参加者
キーマンインタビュー	熊本市かえる研	熊本市若手職員の研修プログラムとして、キーマンにインタビューして、これからの熊本市のあり方を考えるプログラムにおいて、日比野館長にインタビューを実施。	9月13日	4人

市長とドンドン語ろう！ ～小・中学生版～	熊本市こども政策課	市長が市民と直接対話する機会をつくる「市長とドンドン語ろう！～小・中学生版～」を、アートラボマーケットで開催。子ども達が話しやすい雰囲気をつくるため、トークの前にアイスブレークのワークショップ(大きな窓に絵を描こう)を企画。やわらかいアートコミュニケーションの場を提供。 *大西一史(市長)、参加者	9月28日	26人
くまもとアートポリス建築展2024トークイベント「小さな風景と建築」	熊本県建築課	くまもとアートポリス建築展2024の関連イベントとして、建築家の乾久美子によるトーク、後半は、熊本の建築家でアートポリスのアドバイザーでもある桂英昭とのトークセッションを実施。	11月16日	120人
熊本市文化芸術推進基本計画トーク	熊本市文化政策課	熊本市が策定する文化芸術推進基本計画を、市民に理解していただくための、計画に掲載する対談の収録 *大西一史(市長)、日比野克彦(当館館長)	12月20日	非公開
熊本大学キャンパスミュージアムシンポジウム「共生社会をつくるアートコミュニケーション」	熊本大学キャンパスミュージアム機構	東京藝術大学が、現在、熊本をはじめ、全国でおこなっているさまざまな取組と、共創社会へ向けたこれからのアートの可能性について語るシンポジウム。 *日比野克彦(館長・東京藝術大学学長)、田中一平(東京藝術大学特任講師)、松永拓己(熊本大学教授)	1月25日	120人
アートと都市と公共空間 フォーラムVol.3	アートと都市と公共空間	webメディア「アートと都市と公共空間」に、「感じる計画！ PLAN TO FEEL! 熊本市第8次総合計画展」についての記事が公開されたことを記念してインタビュアーとインタビューのトークイベントを開催。 *山下裕子(ひろばニスト)、岡田潤(東京大学特別研究員)、岩崎千夏(副館長)(3名)	2月3日	25人
			合計	295人

【その他】

種別	対象	内容	開催日	参加者
熊本市文化顧問	熊本市文化政策課	日比野克彦熊本市現代美術館館長に、熊本市の文化顧問を委嘱	4月1日-3月31日	-
担当課との検討会議	熊本市改革プロジェクト推進課 文化政策課	熊本市の外郭団体(当財団)の経営についての意見交換	5月30日、 6月6、13、 20、30日、 7月12、18、 25日、 8月1、2日	理事長・事務局長・次長・館長・全プロパー
公益法人運営状況立入検査	熊本県教育政策課	公益法人における運営組織及び実施事業についての定期検査	11月13日	事務局長・岩崎千夏 岡田直幸・中村美友
指定管理者制度に関する検討会議	熊本市 改革プロジェクト推進課 資産マネジメント課 文化政策課	指定管理者制度に関する相談・意見交換	11月22日、 12月19日、 1月30日、 3月27日	理事長・事務局長・次長・岩崎千夏

(1)理事会、評議員会

種別	内容	開催日
理事会	熊本市現代美術館の運営方針等の協議・確認	6月5日、3月17日
	理事長の選任	6月22日
評議員会	熊本市現代美術館の運営方針等の協議・確認	6月20日、3月18日

(2)助成金・補助金・支援金等

助成・補助・支援元	名称	対象	金額
公益財団法人 小笠原敏晶記念財団	第3次新型コロナウイルス特別助成(現代美術分野)	現代美術館と藝術大学による新しいアート・エコシステム「御用聞き」からはじまるアートマインドの連鎖 ※2か年予定	4,700,000円
一般財団法人地域創造	創造プログラム(企画制作力向上特別分)	「ライフ2 すべては君の未来」	7,600,000円
一般財団法人 熊本放送文化振興財団	文化事業助成	「ひろがる図工室」(仮)をつくるプロジェクト [雑がみアトリエ]	50,000円
公益財団法人大林財団		LOVE ファッションー私を着がえるとき	1,000,000円
合計			13,350,000円

(3)職員採用

概要	採用数／応募数
令和7年4月1日採用 正規学芸職員	1人／18人

(4)表彰

賞	概要
GOODDESIGN賞	市民に行政の最上位計画である総合計画で策定したまちづくりの方向性について感じてもらうために、展覧会「感じる計画 PLAN TO FEEL! 第8次総合計画展」という形でアウトプットするというデザインによる受賞